豊久清の俳集

全

誹諧混雑書記集

北越　小千谷　真翠斧咸慨編

四季ゟ

下駄かけ小田切紙ゟ　夕の雪ミ　東莪

梅ち鶯や与雲ち　山陵士町　吟糸

[illegible]　[illegible]　夕工女

[illegible]　[illegible]　雉啄

[illegible]　[illegible]　葛古

[illegible]　[illegible]　苣丸

[illegible]　[illegible]　可厚

白兎
一枝
故園
亀丈
梅邨
雪川
龍山
御宿
雪似
兩塘

爐房
香雪
文窓
年緒
東雲
松原
頑無
梅市
さ成
凌花

塙明
雨槿
茶筵
荷乙
賛附
桂雨
大梅
護物
雛頒
春路

義笑
眞高
麻吏
文二
起肇
丁知
清凡
右月
ちゑ
似暁

りうてうの臺岸に来ぬ仏人の庵　華嶋
神楼の書ながらも寺し人ぶ遊　蓋坦
う伝れ花は玉わり蝶分て去ぶ　凉谷
雑務あらは後ひとつや柳ふく　化竜
寺もなく字雲ては梅のさかりかな　旧邨
修らは今説つくりふぬ乾　谷顔
山深く来て酒くれの暮の陽かゝり　素志
山ぶや桜あらし入日は入里　一具
雲ゝをも総ての日もさえ木の芽哉　雲帯

二たゝひ芽生をいれ神の櫻か郷　咩牛
水柳よそよしゝ柳の芽たちそめぬ　弄亀
郷竜の光網むしほくも結びのるや　音人
春かきるともそてみむ山の梅　皎雪
網猫や青きつめくまえの角　改二
蛍かし暮して日くれぬよき寝かな　牛呂
うまうしも無るをぬ姫乾やりも鹿　五陵
流れそゝぎ花かはらゝ蕗の薹　ま婆
三千りうりう一両の扉かなしみ　蕪信
夜の明さむけくまぬ花の香カセ　萬錦

先妹しさくらも並よ流かま移ろ — 鹿太
所しや初しぬ娘のまねく柳かな — 傳人
御代の松よかしや飛ちる桜 — 紫月
前ふのや霞ぬる月の前をたし — 阿竹
左義長や見しかす恵くはゞ花 — 芳麿
梅若や見しく二葉の山流く人 — 鶏周
霞深き小松原しや隣さる — 童羊
初生て言まき餅の村流れや — 芸路
蝶のあふうら麗して流 — 花竹
柳と雲の上とれる廊れ — 素花

花より花乃飛ぶ小蝶かな人 — 一恵
うけ合て空のおとし花の雨 — 一兆
梅〔?〕のおとしより花咲乱 — 〔?〕遊
すり門流る夜や九節のあるか — 朗月
若き夜帰る柳の春 — 梅可
ここに泊しむ花の霞諸氏 — 岱露
朝の宮や餅つ経て一人分ある — 汶草
帳行手桜流るや見ゆ — 啓山
花さて数多論かり — 應く
月妹暮れ秋よけ神く — 帋司

ふるさとの園の十五夜の
長興

明月や門に入る人に見せもせん　長城連
十六夜の後の月　石海
はつこうの花の月　守雄
はつこうの花の月　之徳
むかの月雲の上なる　月敏
わすれぬ月　錦高
夜ふかし　天涯
梅の月　寛路
家ごとに隠れぬ月　尺岩
隠れ住む人に見せぬ月　桐堂
海を隔てる人に見せぬ月　宗匠
月を振り捨てる神の心　太節
うらみや辰巳の月　紅鄙
年ごとの秋の月　芝雪
秋や新酒の月　北東
月雪花の秋　援魚
月雪花の秋　市司
雪花の秋　双葉
行く人の月の中の雲　可竜
新月を指す指の爪　兎白
新月や沖の遠の沖の月　梅居

淋しさや馬引乾したる酒やの火　観舟

茸狩やなれも見る鶺鴒　十千 尺舎

唖子とて物言ふ水の秋の風　六日町 近羅

蚊帳や砂らし水の涌こしる　七日町 周慶

墓の留守一手に行まし赤子七蓉　月志

旋風の香に驚かぬ行燈　汀翠

星は空にこもる秋行燈　石海

秋の色や花のこぼれる鉢　文之

赤子や川に流しとんぼかな　ミ茂喜

ちよつと秋火欲しく道のゆきとまりけり　尺舎

黒姫山春興嘴宮評

白梅も見ぬ森に見ぬ月秋　某の所 菫水

葦に日傘や稀の花は雨や姑　水也

昇る日もむしろ秋の紅葉や　杉田 藍石

蟲の秋や出かけ先の水溜り　某の所 亀石

朝や江湖見かける寺の秋や　東人 杜葉

金屏の雲に照られる梅の月　亀石

海の鳥出流れとぶ秋は　某の町 鳥亭

明の秋といそく小鳥や森の山　小白倉 一酉連

野分や大をしる雲に写る舟　河中

大名の入部も海も磯の翁　長岡 找も

鳴く車に秋の煙を招くけり　尺苔

笛しさへゆる年鳴らし布川　萱水

篝火の中に道行川の月　上山や 撰井

旭にも落ぬと見る花の子かな　江戸 千杉

蓑と鳴よみて出れた月影　台ロシヤ 云清

しれ物を起しちゝくさして　又吉

錦子はや明しもさし松の露　きく山 倚芳

酒細き月のさしくる旅の中よ　尺合吉

小便かる嫁入しきや菊の酒　牧山

新そばの道しる通る帰りは枝まで　三ホサハ 花雪

婿らにあやしむ月柳かな　河中

小鳥や背戸月の底しらく　捌かれ

月高く松の白き宿りぬ　芸流

傍秋はや墓に草もある　千住 甚巴

蝶の水さへ書きや芹の涼　芭水

光しき花や花より奥の家　尺合

正月の頭の花しや雲れ月　三竹 瓢宅

ゆめうつし秋のちれ風のやみ　萱水

妹のりやこまねする蜂の豆　三の竹 紅旋

雲姥し柳の後の新のゆめ　其流

うふ菊芋おさてもかへり　尺吉

藤や紅葉の上する涼しめず　溪林

芋おも重くとて縫し涼し銀河　千住 文斎

うしてお花もさし採れぬちかうし山の寺　小千や 吟泉

芋引くと花の雄年二度ぞうり　亀石

庭の馬の鞍かしはく水葵みる　芦水

鷹狩の見送りしそひさしける　其阿

尾の名八敗の左宗定まる　亀石

漢字雨割字あけしを分　楊州

花やかなる縁や湖の音　翠石

山里に帰ると經ひの杉生寺　吐糸

小川晴とかさへ作るわしいく　千松

小の葉の往来の声ける家の　芦水

高新くいふもしてこふの月　少念

戸細れた明ふしふ宮の宏　指水

引文和し帰しとをねや宝給　芳舛

住運しけくるふ第多　山人

湯音と笑かしくかしく館の叔　白水

遠々夜しく重たしく[illegible]の山　[illegible]

新みきのりさまる神送り　芦村

・長歌　[illegible]

山鳴の来しく海荒の　物宝京花洋[illegible]

多野[illegible]　[illegible]

湖の窟こらし種りしふの月　亀石

深山竜評字負

裏むかし[illegible]の巣とも[illegible]　十日町 楊臺

消道のあやかしこの角よ[illegible]　恐石

藪の月水許りけるかかり　芦水

流れ来し元日れ月こ部[illegible]　天[illegible]

折くてみる梅のおこゝろ　文旋
来ぬ庵の名もぬ秋りかし　山人
世の梅の花皃しゝいふ月秋哉　讃柳
長子にいふゝ川も照れ萩株子　天哲
うすかりぬくさもく梅の茂　素明
ちり縺よ篝火のてあめ月秋へ　大雲
戸の豹れて湖の附秋ぬとしてけり　吉井
秋の心もやいはり中かれ木の下　御風
関〜行けり暮千里月　龍水
稲よ把免らるゝ秋の山　色石
まり牒ゝ見る写見て海けり　松山
小字かて蘆秋もよ月ハ折りけり

梅のうや外て寒さ娥料理肴　乙桃
喰つきうちのゝ行て雲の下　花見
出かしも百舛の月を晴たちか　正重
米汲もらね数上りはらきた　楓什
来て花も日ハちよかしてやさ梅哉　濤井
菱来隣て悪しく梅の山　萱水
松島や秋しく若菜れて草葉　天哲
中ちもりてらうや来より冥家　十カ町　李郎
宗教の雨に深きや梅名哉　大哲
高きいて降りも長の月秋哉　千今　呑水
松風の喰ぐ緒めして生ある業哉　萱水
秋て秋秋来ぬや研卿のなりま志め　上五川　雨丸

芦の穂のゆるゝに枝をおさへて雀 浅司(?)

山もとに暖を移して冬の来る 史炎(?)

好もしき柿もかくして戸口かな 李朋(?)

扇とも逆も見れば因うてかなう 翠五(?)

小梅をこそる霜の[illegible]月可観 素阿(?)

寿子好むみて円いおさまし ちい女(?)

鈎柳を縁して月の光かな 尚亭(?)

生あ気に後は日和哉むかしの[illegible] 聞山(?)

兎も明て種ありぬいそ出たつ 芦水(?)

角落て世の中ちかき見事る哉 古亭(?)

言の月常見えてする独り 妙(?)

深かしさし山吹や蕎麦の花 楚能(?)

若きたの影の雀も春の麓 玉泉(?)

樽子はまた来たかや今鶯のそれ 杜鵑(?)

笑子を待や虫好んで水のつく 孫花(?)

こぼれ柳ふくでゐる也て小春哉 何丹(?)

清ろ種や霜のかりく霜の声 芦水(?)

秋の日しくぬ葉菊なりけり 牧山

鳴竈で雨ふる消えぬ時かな 黄水

二本十月様の春のえみさかし 亀覚(?)

追加

つもりゆきて動くは夜の[illegible]

浪花 須由菴金英(?)

梅見侍五泉し乱

水祭と見おとしけり蚊の声　亀石

若竹の庭作て来しや東大寺　千淵

藤部小も夜の付や梅雨の中　文雅

長雨しや旅の鍬まても家居哉

ふ良作や春の雨の中かし落　（小白久丁）破艇

川北にてよ雉子ね蕎の乙れ　練花

有りて寄七を漂ふ鶉や花の雪　竹尓

御年花新めの雉子鳴　（小白久丁）芦水

秋積の人の通りや花しま　下岩

山さらし人の手にさへ紅葉哉　魚石

十六夜や句しの寄も揚くる根　雀山

手洗し石の風呂や白く遠焼かまど　京水

梅風の積る屋の茶毎に花　汝耕

恵も来ぬ大歳人も寄ぬ小正月　北水

初秋や白萩しげる野の花　不岩

表にも目にさえ見えぬ秋の風、

蕗月の雉子鳴つれ鶏り、

春雨さも寄せ来し枝折り　翁亭

晴てもや花笠て行く花　芦水

春の菊を秋る草に一年　大岩

十六夜や岩の茶飾の堤も岨し　山人

所もとを押せて見てや母の舞　大岩

鶉鳴のまつ声とも秋乙り雉　芦水

梅ちりし江の匂ひしる鶴の声　桃水
朝もやに雲雀を落てしる元元　下宿
花ゆかし接木あはれやしらて舟　・
菫さくあとさき清浄の跡に雛　芦しる
本丸のあとしき青柳牧の馬　北さく
古丸ふるかへしてはりや清水　業跡
若草や袂うちはらひ出て蔵　抛水
ひとつ出し子はいかゝ鴫のこゑ　・
山寺は雪はれ消えしあとはまた　大岩
源平峯高ても敦
庭くさ後は節も月おかしく　二水
笹わかれて残る茶の有る柳の雛　小白みつ　北川
四つめくる紫の花や いさはちり　二志ん
源氏めく卿の言つけて見られ　蕊入石
庭も古記も中にとけ山のなりけり　芸水
うつたへや聖と梅より小ざし　傑花
さきくら海苔も菊は九日雛　以
人の桑の柳とふちて菜の葉　味泉
古き菊や後ろけは一夜の花道　如雪
満ちるるの村雨の花の縁よりわり　平流
若菜摘柳の後の桜かな　・
押合てむ雪の夜の花かしらむ　・
頭巾めや花や下戸の手の下　庭竹
月の光朝夕く花あかしくて　・

篭の家は梅ふきこぼす梅の香哉　常水

閑にけし鶯の声や春過し　亀石

修行の身の夏にあらひの明ける　人翁

鶯の林に馬の雲に通ひ村

蕗の葉や菖の葉にこほれ露　桃水

月山の立秋動きさらし哉

春の朝や宗旅の宿のさひし庵

萬よりこえて通ふ花も折りけり

拂けく蘭の香りぬ山の山　山人

去年の夏花も秋の錦哉

雨かなし涼しさ花も見ぬ名　呈水

雲の月の秋まで露も霧り

罗も我涼もさへしふしまる所南　之節

梅形りよやとほめや　我舞し　兰節

揃参らふかしけ是みか

葉露梅ぬ菊とこえや　楓の花　史魚

字垂あ雲の雨や　いたまみ柳の花　牧山

挽りわしと菊までかりし　雪路の音　大人

ありとも望も雨やや　滝の葉か

雲の乃えるて　桃や乃花哉

大浪とかしふかしかゝ千鳥　牧山

菊の露も雨もぬかし　首水

蒼天や京の八七年花のうけり　亀石

湖を渡もゆかし松の雪　香亭

[illegible]

[illegible]

[illegible]

百観音奉額発句合

追善夢之花　東都　八朶園蓼松評

在亜之吟

三日月や昔のいろと花の雪　折柳亭　樂東坐

正五点ノ部

淋しさとうつるもの哉　竹和

ながめても結ぶ長　雨月

うつるもの形ばかりの雪　雀巣

寒ふかし蓮のうきもの　南拙

物ごとに山をうつして、

蛙とは物のうつる、　阿陳

一ノ宮や蛙の声の清の上　伯友

[illegible]

柳置
吟象
文友
蒼雨
青翁
来仙
兎川
香動
白象
松水
見龍
乙舟

[illegible]

正路
[illegible]
味道
[illegible]
朝為
小遠
柳色
シライ
遠延
下ツサ
清宮
下モリ
花水
セシテ
技桂

[illegible]

一 緋 素十 完流 桜宮 八子福

位五京之部

[illegible] 月川 帝園

[illegible] 下ヲ 舞陸

[illegible] 帝宮

[illegible] 一星

カハタ 千石 サヲヒ 山和 カヘス 杜哉 ハヒラ 完尓 ナラ 通嘉 上モク 秋月 生宮 柏子 ヒロツ 旧恵

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]　　見龍　　サイ　八千穂

[illegible]　　一忠

[illegible]　　素年

[illegible]　　東菱

正五位

[illegible]　　考子　一豆

法眼

[illegible]　　宋宣　参松

天十五位　竹和　地十五位　雨月　人十四位　雀巣

年年菴月次合三月之部

五位之部

[illegible]　　コスヲ　文原

[illegible]　　月非

[illegible]　　補石

[illegible]　　志麻

[illegible]　　莖水

[illegible]　　尺苔

[illegible]　　文哉

六位之部

[illegible]　　里月

[illegible]　　里布

山路や　小雄一人　[illegible]
紫に　[illegible]　[illegible]　[illegible]　誼老
[illegible]　[illegible]　[illegible]　素明
[illegible]　[illegible]　[illegible]　尺若
[illegible]　[illegible]　[illegible]　敬齊
[illegible]　[illegible]　[illegible]　全

七点之部

大[illegible]　[illegible]　[illegible]　誼老
[illegible]　[illegible]　[illegible]　尺若
[illegible]　[illegible]　[illegible]　竹笑

霜月十[illegible]
[illegible]
[illegible]

五点之部

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

[illegible]

蕊卯　菱園　不知　東在

上カミ

仝　曉舟

[illegible]　葉卯　駕江

三文

仝

仝

土邉阜池評

[illegible]　玄和

[illegible]　[illegible]卯

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　文龍

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

北越之隱士千谷御栖

田中之姓號麗齋　名與山拜書

馮華月之道神姓扈裏梁脊

改號黃雨名行司寄

維時文政十一丁子歲

菊月中旬十七日調達之